

天文班新聞

編集・撮影

天文班 2学年

班員募集中

兼班也大歓迎

いつでもお待ち

しています

世界を変えた4つの衛星

先月16日（水曜日）校舎の屋上にて天体観測を行った。3年生が引退し、2年生のみの参加となったが、今年度初の観測日は天候にも恵まれた。おおいぬ座のシリウスやおうし座のアルデバラン、火星のほか、これまでの天体観測ではあまり見られなかった北側の空にも、いくつかの天体を観測することができた。その中でも本号では「ガリレオ衛星」について紹介したい。

ガリレオ衛星とは、木星の周囲を公転している、4つの大きな衛星「イオ」「エウロパ」「ガニメデ」「カリスト」のことである。近代科学の父とも呼ばれるガリレオ・ガリレイが、自作の望遠鏡で発見したことからその名前がつけられた。この4つの天体が木星の周りを回っているという発見は、ガリレオの地動説を強く後押しするものとなったと考えられている。



400を超える火山に覆われたイオ、4つの中で最も小さく内側に多くの水が存在する可能性があるエウロパ、太陽系最大の衛星で火星と同程度の大きさのガニメデ、そして太陽系内で最も多くのクレーターをもつカリスト。このうち、特にエウロパには、氷の地表に覆われた、内部の水や熱水活動が存在する可能性があることから、生命の存在が期待されているのだとか。もし地球外の生命がいるのであれば、ぜひ会ってみたいものである。今回の観測では、佐藤先生のご協力の下、木星に加え、ガリレオ衛星のうち3つを、学校の望遠鏡で観測することに成功した。写真は、班員の1人がスマートフォンで望遠鏡越しに撮影したものである。撮影した本人も、こんなにきれいに写るとは、と驚いていた。

今月の空 皐月 May

13 火 満月（Flower Moon）

20 火 下限の月

23 金 月と土星が接近

24 土 月と金星が接近

27 火 新月

30 金 水星が外合

13 満月（Flower Moon）

アメリカでは5月の満月は「フラワームーン」と呼ばれる。多くの花が咲く頃であることが由来。人間関係の絆が深まるジンクスがある。

30 水星が外合

水星が地球から見て太陽の向こう側にある状態になる。地球－太陽－水星の順で一直線になる。その関係で水星と太陽の見かけの位置が近いので、観察は難しい。

4月10日は「班活動説明会」と題して天文班の活動内容を説明し、その後は質問対応を行った。天文班とは関係のない学校生活の質問にも、2年生が全て正直に答えた。

4月16日は、2年生は17時以降に天体観測を行うため、仮入班の活動として1年生に望遠鏡の組み立てを見学してもらった。また、質問対応や日々の活動の説明などを行った。

天文班の仮入班は2日間と少なかったのだが、10日の回には20人、16日の回には41人、2日間とも来てくれた人が10人いるので、2日間で51人もの1年生が来てくれた計算となる。

仮入班期間の活動報告

